

銚田市銚田商工会青年部会報



# Enjoy 青年部 (微 明)

No.27 平成 18 年度版

発行日 平成 19 年 3 月 31 日

編集 銚田市銚田商工会青年部

広報委員会

発行者 銚田市銚田商工会青年部

部長 久保田 豊

銚田市銚田 2482-1

TEL 0291-32-2246

Contents (目次)

- P1. 屋台村・発刊にあたり
- P2. 親睦旅行・野球・銚田マラソン大会・HAT☆KIDSチャレンジショップ
- P3. 全国大会・市長との対話・こども見守り隊・事業一覧
- P4. 卒業生紹介・新入部員紹介



第十回  
『屋台村』  
HAT☆KIDS  
チャレンジショップ  
共同開催

去る平成十八年十月十四日(土)銚田市銚田商工会青年部主催の第十回「屋台村+HAT☆KIDSチャレンジショップ」がホットパーク銚田公園内に於いて行われました。



今年も、昨年同様旧三町村の合同事業であるHAT☆KIDSチャレンジショップ「商売体験事業」との共同開催となりました。

オープニングセレモニーは、第一、第二保育園児による鼓笛隊で、華やかにスタートしました。園児たちの晴れ舞台を観に集まった父兄の皆さんが、会場を埋めつくし、スタート時から屋台コーナー・イベントコーナー・HAT☆KIDSチャレンジショップと共に大忙しでした。

今年も、「HAT☆KIDSチャレンジショップ」に、舟木小学校・旭東小学校・上島西小学校の参加があり、皆、力を合わせて一生懸命がんばっていました。



午後の部は、とりのす保育園児による鼓笛隊でスタート。息の合ったすばらしい演技を見せてくれました。

屋台コーナーでは、新たに「バナナクレープ」が加わり、イベントコーナーでは「ロードトレイン」「フワフワ」など共に大盛況でした。更に「紅白もちまき」では、豪華景品が当たるといふ事もあり多くの人で会場は埋めつくされました。

また、オジマ洋品店、平沼金物店さんの出店協力・商工会女性部による、おにぎりの販売、銚田市観光協会によるガス風せんプレセント、更に、銚田消防署・銚田保健所などたくさんのご協力があり、大成功に終る事ができました。



平成十八年度商工会青年部事業も滞りなく終了しようとしております。

青年部員の皆様には、忙しい家業の中、本年度の事業に参加・協力して頂きご苦労様でした。

今年も、メイン事業でありました、「青年部屋台村」第四回目になる小学五年生を対象とした商売体験事業「HAT☆KIDSチャレンジショップ」等を中心に部員の熱意と努力を重ねて実施した結果、地域住民の大勢の来店を得る事ができ、盛大に開催できました。

何よりも、来店された皆様方に喜んで頂く事が私達をやる気にさせてくれる事は、間違いない事だと思えます。△継続は力なり▽



## Enjoy 青年部発刊にあたり

青年部部长 久保田 豊

年部の団結を更に深めて、地域の経済団体の先駆者となる、青年の姿をつくらうではありませんか。

私達青年部は、若さを持っています。失敗しても、経験として得る事のできる年代でもあります。色々な事にチャレンジして、地域の未来に、家業の発展に切磋琢磨して考えていきましょう。

最後になりますが、今年度の総会で二年間の部長職を任期満了し退任いたします。

部長として得た事は、「出会いの大切さ」「人とのつながり」「人からの助け」だと思います。

沢山の出会いにより色々な事を学ぶ事ができ、青年部の諸先輩を始め、商工会の関係者の方々との繋がりを持つ事もできました。

青年部での各事業では、部員の助けにより成功し、多くの事を学び自分を磨く事が出来たと思います。

「今、私に係わって下さった方、助けて頂いた方々に感謝したい!」。そういう思いでいっぱいです。

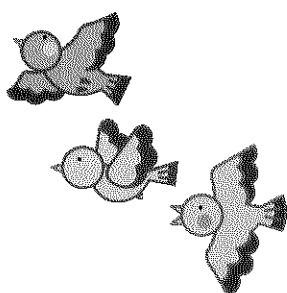
これからも、宜しくお願い致します。

来年度も、地域振興事業の一環として継続し益々発展し実施して欲しいと願います。

さて、平成の大合併で誕生した銚田市も一年半が経ちました。が、親商工会も合併に向けて、事前準備を進めています。

私達、青年部も当然一体化になります。そのためにも、旧銚田・旭・大洋の青年部執行部との対話を積極的に行っていく必要があると思います。

移り行く時代に、環境に対処すべく、商工業の経営者・後継者としての自己研鑽は勿論、青



### HAT☆KIDS チャレンジショップ

鬼澤 康一

今年で四回目となる「HAT☆KIDSチャレンジショップ」本年の当番校は、鉾田市立の舟木小学校、旭東小学校、上島西小学校の三校での開催となりました。

我が青年部担当校は、舟木小学校で六月から数回にわたり学校訪問をし十月十四日の屋台村での販売にむけて一緒に頑張りました。

### ほこたマラソン大会

田上 隆生

平成十八年十一月二十六日(日)、鉾田市・鉾田市教育委員会・鉾田市体育協会主催のもと、「ほこたマラソン大会」が開催されました。

当商工会青年部では、スタート地点である鉾田市役所敷地内で、とん汁の無料配布を行いました。このとん汁配布にあたり部員総出で前日の夜から仕込みをし、約七百食分ほど用意しました。マラソン大会当日は、朝から準備を行い、会場にお越しになった選手や関係者の皆さまにとん汁を配布しました。そのとん汁を食べた皆さまから、「美味しい」との評判で、またたくまに人の列が出来、二時間ほどでなくなるほどの大盛況でした。

それに加え当商工会青年部で初めてほこたマラソン大会にエントリーすることになりました。我々青年部のアピールと

事業の説明を聞いても、「商売ってなに？」僕達、私達は何をすればいいの？という反応でしたが、日がたつにつれ、段々と自分達から、積極的に質問してくれるようになりました。

屋台村当日、合計五社のお店が立ち並び、会場ではお祭りのはんとんやおそろいのエプロン、オリジナルTシャツなどの姿で「いらっしやいませ」「ありがとうございます」と元気の良い声が響きました。

商品も新作野菜菓子・とれたて野菜&花・なべしき・ミサング・木のコースター・カベ飾り・流木のキーホルダーなど、どれも子供達手づくりの素晴らし

もに部員の結束と心身を鍛える絶好のチャンスと考部員十四名がスタートラインに立ちました。もちろんアピールも兼ねていますので青年部の「はんとん」を着用して5kmマラソンに挑みました。コースが鉾市内という点もあり、沿道には知り合いや町内の人々の声援に支えられて見事に全員が完走する事が出来ました。

私ごとではありませんが部員の中で一番にゴールラインを踏む事が出来て本当に嬉しかったのですが、その嬉しさよりも私が感動したのは、エントリーした部員全員の完走です。普段は仕事の日々で運動などしていない部員が、必死に完走する意気込みで頑張って走っている姿でした。どんな事でも「成せば成る成さねば成らぬ」と言うように、このマラソン大会を通して、部員に自信と誇りが根付いたと思います。次回のマラソン大会にも参加して、達成感の喜びを分かち合いたいと思っております。

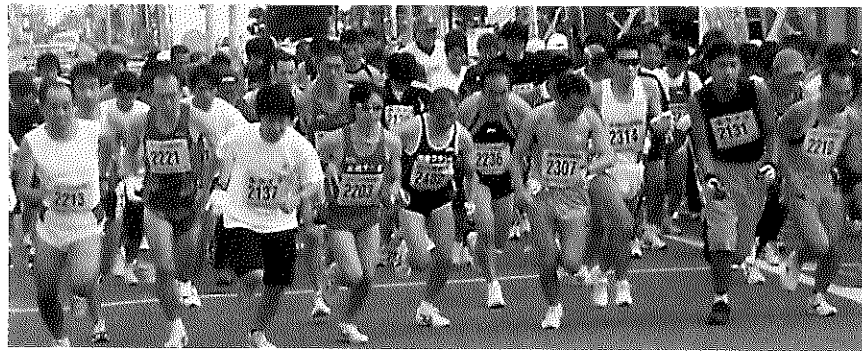
最後に、部員の皆さん開催前

しいものでした。開店わずか二時間ほどで売り切れるお店もあり、私達の方が圧倒されるほどの繁盛ぶりでした。

普段立つことのできない教壇に立ったり、子供達の柔軟な発想・枠の無い考え方など、私の方が刺激をうけることができ、また担任の先生や父兄の方々に大変ご協力を頂き子供達も楽しげに商売というものを体験できた事と思います。

部員の皆さんも仕事の合間に参加する事で大変だとは思いますが、子供達から得る大切な事も多くとても達成感のある事業だと思っておりますのでご協力をお願いいたします。

日からの仕込みと当日のとん汁配布、本当にご苦労様でした。次回の「ほこたマラソン大会」もエントリーしましょう。また今後も青年部活動に一致団結で望んで行きましょう。



### 青年部野球大会

荒野 文孝

「甲子園で野球がしたい！」そんな思いが十四年振りに甦りました。今年度の野球大会は、青年部四十周年記念に伴い、全国大会を開催し、しかも会場は阪神甲子園球場で行うというものでした。

六月鹿行予選が行われ、鹿島、波崎、神栖商工会青年部を激戦の末破り、三年連続県大会に駒を進めました。今回の県大会は一日で全ての試合を消化する過密日程でした。一回戦稲敷商工会を辛くも破り、準決勝に進出しましたが、初戦の疲れも

あり惜しくも谷和原商工会に破れてしまいました。今大会は、鹿行予選を含め他の商工会は甲子園を目指し、かなりの戦力を補強して大会に臨んだ様でしたが、我が鉾田市鉾田商工会は従来の仲間甲子園を目指しました。スロースターターで、なんだかんだで勝ってしまおう鉾田の野球が今年もできた事は、非常に良かったと思っています。

最後に、選手、関係者の皆様一年間御苦労様でした。来年度も御協力お願いします。又、諸先輩の皆様には、御支援頂きまして本当にありがとうございます。引き続き来年度も青年部野球部を宜しく願っています。

### 青年部親睦旅行

本沢 彦治

2月21日22日の1泊2日で毎年恒例の青年部旅行に行ってきました。今年の旅行先として、商工会青年部全国大会の40周年大会の会場となっている武道館、そして、横浜中華街が選ばれました。横浜には学生の頃何度か行ったことがありましたが、社会人になって初めてだったので、何か新たに得られることがあるかもしれないと期待して参加しました。

さて、武道館に向かったのは良いものの、さすが首都高!!大渋滞。武道館に予定より2時間遅れての到着となりました。急いで会場へ入ると、自民党の川幹事長さんの登場!!鉾田のメジャーからは「今、話題の人」という声もありましたが、早くも旅行疲れが出たのか、私は中川さんの話も聞かず居眠り...

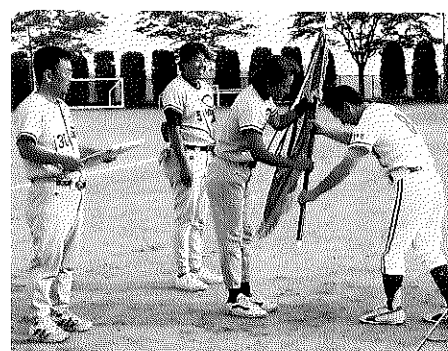
そうしている間にそろそろ武道館を出発する時間となり、何をしに来たんだと思いつつ移動となりました。

そして、江ノ島のえびす屋へ。ホテル業を営む私は、どんなサービスをしているのか、どんな部屋に泊まれるのかと、期待に胸を膨らませていました。期待以上のものだったかどうかは皆様のご想像におまかせするとして、風呂や部屋からの湘南の風景は素晴らしいものでした。

二日目は鶴岡八幡宮に立ち寄り本殿を参拝し、お昼には横浜中華街へ着き買物タイムとなりました。下調べを何もしていなかった私は、とりあえず中華街を散策しました。にぎやかな街並みを楽しみたいと思つた私は、元町へ足をのびました。とても魅力のある商店街で、多くの人で活気づいていました。鉾田にもいつかまたこのような活気を!!と誓い、元町を後にしました。



私にとって2回目の研修旅行を終えて思うことは、このような経験がこれからの家業に役立つのではないかとということです。また、青年部メンバーとの親睦を深められることでも有意義なものだと思えました。





# 全国大会に参加して

川崎 孝康

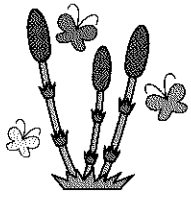
日19年2月21日(水)22(木)に掛けて東京都「日本武道館」と「赤坂プリンスホテル」に於いて、商工会青年部全国組織化40周年記念大会(第9回商工会青年部全国大会)が開催され、鉾田市鉾田青年部員も10名参加して参りました。約5000名を前にした開会式には、経済界の中枢ともいえる方々が多数来賓として招かれました。鈴木政二官房副長官(元愛知県青連会長)、全青連副会長)が安部内閣のご祝辞を代読され、その後、甘利経済産業大臣、中川自民党幹事長、更に中小企業庁長官や幹部の皆様からも次々とご祝辞を頂きました。やはり商工会とは日本一の経済団体なのだ改めて自覚した開会式でした。スケジュールを概略で報告しますと、全国部長会議・後援挨拶・40周年記念表彰授与式・大会顕彰授与式・青年部活動功労表彰授与式・記念事業報告・主張発表大会・基調講演会・19時から赤坂プリンスホテルに移動してからの交流会までと、時間の経過を忘れる程の内容で一日目が終わりました。中でも全国部長会議では商工会組織全体に対する具現化策を発表(決議)、40周年記念表彰授与式での茨城県は中小企業庁長官表彰(行方市北浦)を始め、多くの彰を授彰しました。また、大会顕彰授与式での、人(ヒューマン)づくり部門では神栖市波崎の村田部長(私と同業者)が表彰を受け、下派手な髪型と衣装で会場を和ませてくれました。なぜベンキ屋は僕のように地味な人がい

ないのか?という独り言を執拗なまでに僕は脳裏で連呼してました。松山千春氏による基調講演会、その中の言葉ですが「かばう」と助ける。は違う!自分がまず元気になる!!みんなでない時代を創ろう!!!。一見簡単なような言葉ですが現実に零細企業の我々にとって深いメッセージとして心の奥に受け取れた講演でした。

二日目、委員会報告パネルドイナリー・国会行進・。委員会報告では情報ネットワーク戦略と政策具現化の報告会、青年部の現状を伝えるパネルドイナリーセッションでは部員一人一人の生の声、あの様な場面を目の当たりにして思いました。こんな迫力のある会議は生で見たことは無いと。大きな会場の隅から隅まで響き渡る声。隣でしゃべっていた人達も黙り込みました。静まり返った会場に部員達の心を貫くような言葉が響き渡り、青年部らしい熱いものを感じ、そしていろいろと考えさせられました。思い思いに考えをぶつけ合い、まさに「組織化」という文字にふさわしい良いディスカッションだったと思います。47都道府県会長の各大会宣言、フィナーレ後、会場を後にし一〇〇名以上の部員が国会議事堂までの長い道のりを請願行進(シユプレヒコール)し感動の終焉を迎えました。

今大会開催中に何度も耳にした「40周年は単なる通過点」という言葉。我々鉾田市鉾田商工会青年部も今年で43年を迎えようとしています。今後も先輩方の良き伝統を継承し、私も含め後輩達には引き継いで欲しいと思います。全青連40周年、青年部の定年も40歳という数字に皆さんほどのような感慨をもっているでしょうか。節目の40周年だから、これで定年(終わり)などということなく、むしろ新たな青年部組織づくりに向けた行動を始めようではありませんか。その具体的な行動目標が日本武道館で決議されたのです。私は今大会に参加出来なかった部員、青年部活動に後ろ向きな部員達に、青年部を設立された先輩方の思いを、このすばらしい大会の思い出と共に伝えていきたいと思っています。

## IMPULSE 商工会青年部全国組織化40周年



# 市長との対話集会開かれる

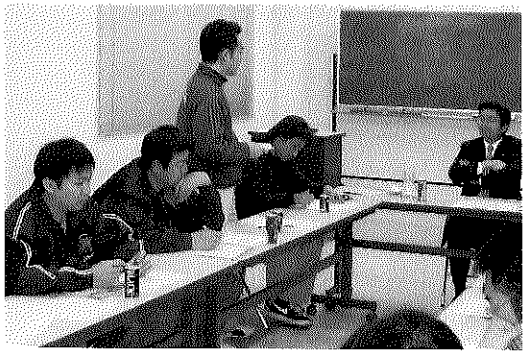
小島 達也

平成十九年二月十九日、鉾田商工会館において市長との対話が行われました。この青年部事業も今年で二回目を迎える内容も益々充実してきているように思われます。前々年までは市長が用意してきたお話を聞いて頂いて、その内容に関する質疑応答という形式をとっていたのですが、前年度より我々商工会青年部員が事前に質問事項を皆で検討し今一番関心がある事、聞いてみたい事を直接市長にぶつけてみようという形にしました。

今回は大きく分けて三つの質問を用意し市長に聞いてみました。

まず一つ目は、我々青年部のメイン事業である屋台村について、前年度と今年度は、ほぼ同で開催したのですが、車での来場者が年々増えており、ほとんどのパーク利用者の駐車スペースまで屋台村来場車であふまってしまう事態が起きており、十分な駐車場確保の目的もあり鉾田総合運動公園での開催も考えていますが、その利用は可能なのか?また市としてのサポート等は頂けるのか?というものです。それについて市長は、以前にも運動公園ではイベント開催の例があるので利用可能との事。またサポートについては、市役所に青年部担当の職員がいるので、可能な限りの協力を約束して頂きました。それをふまえて今年度はぜひ運動公園での開催を目指したいものです。

二つ目の質問は、市では商工業の発展、環境整備等について



## こども見守り隊

商工会青年部全国組織化40周年の記念に、社会貢献事業の一環として、全国の青年部員が自主的な防犯活動を行い近年多発している児童を対象とした悪質かつ凶悪な犯罪防止に努め、安全な地域づくりを貢献することを目的として「こども見守り隊」のマグネットシートをはった車両が平成十九年二月五日から全国一斉に走り始めました。

防犯パトロール実施中

# こども見守り隊

しょうこうかいせいねんぶ

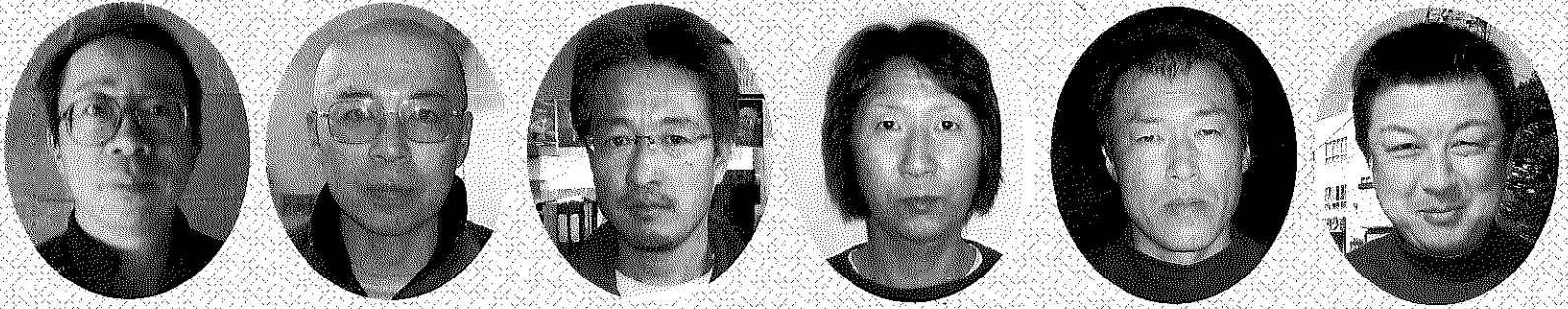
08-4021-036



# 平成十八年度青年部事業一覧

4/27(水)	鹿行地区商工会青年部連絡協議会通常総会(鹿島セントラルホテル)	10/14(土)	屋台村・HAT☆KIDSチャレンジショップ(ほつとパーク公園)
4/29(土)	鹿行北部リーグ鉾田市鉾田商工会長杯サッカー大会開会式(鉾田市総合公園)	10/18(水)	鹿行地区商工会青年部副部長研修会(寿美屋ドライブイン)
5/12(金)	県青連通常総会及び正副部長研修会(ホテルグランド東雲)	11/12(日)	鹿行北部リーグ鉾田市鉾田商工会長杯サッカー大会閉会式(鉾田市総合公園)
6/7(月)	鹿行青連ゴルフ(潮来カントリー倶楽部)	11/7(火)	商工会青年部部長会議(茨城県市町村会館)
6/13(火)	旭青年部交流 野球試合	11/19(日)	鹿行キッズサッカーカップ2006(県立カシマサッカースタジアム)
6/20(火)	北浦青年部交流 野球試合	11/26(日)	鉾田市マラソン大会協力(鉾田市庁舎)
6/27(火)	第三十八回鹿行地区商工会青年部野球大会(行方市麻生運動広場)	12/13(水)	鹿行地区商工会青年部第2回役員会(富士屋ホテル)
7/12(水)	商工会青年の主張発表会(つくば国際会議場)	2/1(木)	鹿行コミュニティイベント(鹿島ハイツ)
7/26(水)	商工会青年部情報委員説明会(茨城県産業会館)	2/19(月)	市長との対話(鉾田市鉾田商工会館)
10/5(木)	第三十八回県商工会青年部野球大会(水戸市民球場)	2/21(水)	全国大会(日本武道館)
		3/20(火)	商工会青年部員研修会

# 卒業おめでとうございます



飯島 勝己 飯島工務店  
 箕輪 隆光 (有)箕輪石油店  
 平沼 秀則 平沼石油店  
 久保田 利彦 クボタスポーツ  
 内田 輝雄 内田木工所  
 岡里 剛治 白栄舎

## 私と青年部

岡里 剛治

私が商工会青年部に入ってから二十年以上になります。

青年部に入ったきっかけは、部員の方に「野球やってたんだって青年部のタバスコって言う野球部に入ってよ。」と声をかけられたからです。

青年部を振り返れば、色々な思い出がありますが、語りつくすには、三日三晩でも足りないでしょうから、一番の思い出の野球にします。

前文でも述べたように、私が入部した時の青年部のチーム名はタバスコといました。この名前を知っているのは、現部員では、私と内田君だけだと思います。

当時、タバスコは、鹿行の試合でも一回戦で負けてしまう程

## 卒業にあたり

内田 輝雄

私が、商工会青年部に入部したのは、二十二年前、一九八五年の事でした。

入部してすぐの、二十周年記念事業を初め、さまざまな事業に、出来るだけ参加して来ました。その中でも、一番の思い出は、「銚田フェスティバル」です。

その中でも思い出深いのは、当時、ブームだった巨大迷路の作製でした。コンパネと柱に溝を付けた単純な物ではありませんが、毎晩、小沼先輩(OB)の作業場へと通い作製しました。

組立当日は、大雨でした。大雨の中での組立作業でしたので、手がふやけてしまったのを覚えています。

巨大迷路を設置した場所は、今

弱いチームでした。神栖・波崎がいつも優勝して県大会に行っていました。その時は、正直負けて悔しいと思うよりは、早く試合を終わらせて酒を飲みたいと思っていました。

ところが、部員に野球の経験者が、一人、二人と入部してくるうちに、負けるのが悔しくなってきた。「勝ちたい」気持ちが強くなってきました。「打倒神栖」を合い言葉に、鹿行で優勝する為に、練習に励みました。

その結果、私が入部して七周年目に初めて優勝し、県大会に出場する事ができました。さらに一番クジを引き、水戸市民球場で選手宣誓をしました。とてもあがってしまい、何を言ったのか覚えていませんでした。試合も皆、実力を出しきれないまま一回戦で負けてしまいました。

それからは、県大会優勝を目標にチーム一丸となって練習に励みました。

結果、十七年目で初の県大会優勝、関東大会出場を決めました。関東大会は、「千葉マリンスターダム」。見に行く事ができても、この場所ではプレーするのはなかなか出来ません。出場するのにも諸先輩方に御協力して頂き、とても感謝しました。

野球を通して、青年部を通して、一番学んだ事は、人と人とのつき合いです。うわべだけのつき合いではなく、先輩、後輩関係なく、真の友達が出来た事だと思っています。

それには、まず、自分が本音で話をしなければ、人も話をしてくれないと言う事です。

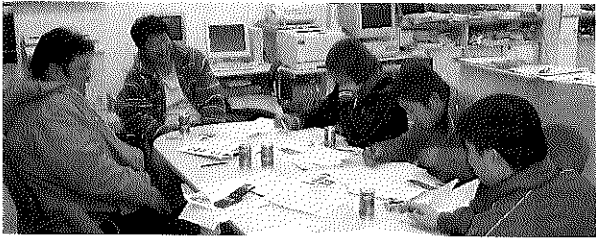
この場をお借りして、私を育てて下さいました先輩方、私に協力してくれた後輩のみんな本当にありがとうございます。

## 編集後記

今年度から広報の委員長を仰せつかり、何が何やらうちに微明の発行の時期になってしまいました。年々歳々仕事は変わらねどやっぱりこの時期はきびしく感ぜられます。広報委員を初め各部員の御協力のものと、微明を発刊する事ができました。

また、来年もよろしくお願ひします。

(順司)



## 新入部員紹介



(有)みのわ(横町) 箕輪 一洋

青年部？あんまり興味がありませんでしたが、入部してみたら楽しい所だと知ったので、これからは、楽しみながら、ガンバっていきます。よろしくお願ひします。



机自動車商会(舟木) 机 貴也

まだ、たいした事はできませんが、少しでも皆様の役に立てればと自分なりに頑張りたいと思っておりますので、これから宜しくお願ひします。



(有)菅谷工務店(串挽) 菅谷 一成

商工会へ母が行った時に、青年部加入の勧めがありました。まだ、何も分かりませんが、色々な事業を通して、皆様と仲良くなり、協力していきたいと思ひます。